

ひろしま未来チャレンジビジョン
農林水産業アクションプログラム
(第Ⅱ期)

平成30(2018)年3月

広島県

目次

序章 総論

I 経過	1
II 第Ⅱ期計画の概要	1
1 計画期間	1
2 計画の考え方	1
3 計画の体系	2
4 推進の手法	3

第1章 農業編

I 基本的な考え方	4
1 目指す姿	4
2 目指す姿の実現に向けた取組の方向性	4
3 これまでの取組と成果	8
4 第Ⅱ期計画の概要	10
II 重点品目の拡大による担い手を中心とした産業構造への転換	14
《重点品目の生産振興計画》	
1 キャベツ 16 億円産地計画	14
2 トマト 34 億円産地計画	16
3 ほうれんそう等軟弱野菜 22 億円産地計画	19
4 ねぎ等 45 億円産地計画	22
5 アスパラガス 10 億円産地計画	27
6 レモン 22 億円産地計画	29
7 競争力のある米づくり	32
《生産振興計画の実現に向けた取組》	
1 新規就農者の確保・育成	38
2 企業参入の促進	39
3 優良農地の担い手への集積	40
4 生産性の高いほ場の整備	42
5 機械・施設の整備	46
6 農業労働力の確保	46
7 経営力の向上	48
8 GAPの推進	49
9 スマート農業の推進	51
10 販売力の強化	52

第2章 畜産業編

I 広島和牛のブランド創造と生産体制の構築	55
1 目指す姿	55
2 これまでの取組と成果	55
3 新たな環境変化	57
4 第Ⅱ期計画の取組	57

II	関連対策.....	60
1	これまでの成果と課題.....	60
2	今後の取組.....	62
第3章 林業 編		
I	基本的な考え方.....	63
1	目指す姿.....	63
2	目指す姿の実現に向けた取組の方向性.....	63
3	これまでの取組と成果.....	64
4	新たな環境変化.....	65
5	第Ⅱ期計画の概要.....	65
II	経営サイクルの構築.....	67
1	主伐・再造林の促進.....	67
2	現場技能者の確保・育成.....	69
3	安定的な生産体制の構築.....	71
III	利用フローの推進.....	72
1	効率的な流通・加工体制の構築.....	72
2	生産量の増加に応じた需要の確保.....	73
第4章 水産業 編		
I	瀬戸内水産資源の増大と担い手の育成.....	75
1	目指す姿.....	75
2	これまでの成果と課題.....	76
3	第Ⅱ期計画の取組.....	79
II	かき生産体制の構造改革.....	83
1	目指す姿.....	83
2	これまでの成果と課題.....	83
3	第Ⅱ期計画の取組.....	86
III	栽培漁業センターの活用.....	90
1	現状と課題.....	90
2	今後の取組.....	90
第5章 安心な暮らしづくり 編		
I	安全・安心な農林水産物の提供体制の確保.....	91
II	インフラの防災機能向上.....	93
第6章 豊かな地域づくり 編		
I	持続的な農業生産活動の実現.....	95
1	農地・農業用施設等の地域資源の保全.....	95
2	鳥獣被害対策.....	96
II	森林の公益的機能の維持.....	98
III	健全な水循環等の確保.....	100

序 章 総論

I 経過

- 広島県の農林水産業施策は、平成 22 年 12 月に策定した「2020 広島県農林水産業チャレンジプラン」（以下、「チャレンジプラン」という。）に基づき、平成 32 年（2020 年）のめざすべき将来像（ビジョン）を描いた上で、平成 27 年度に達成すべき目標を掲げて取組を進めてきました。
- 平成 26 年 11 月には、チャレンジプランで設定した平成 32 年度の目指す姿に到達するため、重点的に取り組む項目を明確にした上で、平成 27（2015）年度から平成 29（2017）年度までの 3 年間を期間とする具体的な事業計画として「2020 広島県農林水産業チャレンジプラン アクションプログラム（第Ⅰ期）」（以下、「第Ⅰ期計画」という。）を策定し、取組を進めてきました。
- この度、第Ⅰ期計画が終期を迎えるため、この間の成果と課題を検証しつつ、農林水産業を取り巻く環境変化を踏まえ、平成 30（2018）年度から平成 32（2020）年度までの県の実行計画として「ひろしま未来チャレンジビジョン 農林水産業アクションプログラム（第Ⅱ期）」（以下、「第Ⅱ期計画」という。）を策定しました。

II 第Ⅱ期計画の概要

1 計画期間

平成 30（2018）年度～平成 32（2020）年度（3 年間）とします。

2 計画の考え方

- この計画は、農業・畜産業・林業・水産業の各分野において、中長期的に目指していく姿を見据えた上で、3 年間で達成すべき目標（指標）を掲げ、具体的に取り組む活動を、整理したものです。
- 「担い手が将来の生活設計を描ける経営の確立」を目指すことができるよう、県が主体となって重点的に取り組む内容と、達成すべき目標（指標）を明確化します。
- 「ひろしま未来チャレンジビジョン」の施策体系と整合させた上で、四半期ごとの点検を行う等、定期的に検証しながら改善を図り、県総体の施策と一体的なマネジメントを推進します。
- 計画に定める達成すべき目標（指標）と地域単位における具体的な取組との整合性を図り、成果志向による活動を加速化させます。

3 計画の体系

		施策体系	主な県の実施内容
新たな経済成長	農業	重点品目の拡大による担い手を中心とした生産構造への転換 《重点品目》 キャベツ、トマト ほうれんそう等軟弱野菜 ねぎ等、アスパラガス レモン、水稻	<ul style="list-style-type: none"> ・担い手の確保・育成 (新規就農者の確保・育成, 企業参入の促進) ・優良農地の確保 (優良農地の担い手への集積, 生産性の高いほ場の整備) ・生産性の向上 (機械・施設の整備, 農業労働力の確保) ・経営力の向上 (スマート農業の推進, GAPの推進) ・販売力の強化
		ワーク 35①県産農産物の生産拡大 35②担い手への農地集積 35③担い手の確保・育成 35④生産者と消費者・多様な事業者との連携 75①レモン生産量の拡大	
	畜産業	広島和牛のブランド創造と生産体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> ・ブランド価値向上に資する本県和牛の強みの確立 ・肥育経営体の経営発展(大規模化, 繁殖肥育一貫化等) ・広島系統和牛子牛の安定調達体制の構築
		ワーク 36①広島和牛の生産拡大	
	林業	森林資源経営サイクルの構築	<ul style="list-style-type: none"> ・経営サイクルが成り立つ林地での主伐・再造林の促進 ・現場技能者の確保・育成 ・林業経営者の育成等による安定的な生産体制の構築
		ワーク 37①森林資源経営サイクルの構築 37②計画的な事業地の確保と林業事業体の育成	
		森林資源利用フローの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・経営者の連携等による効率的な流通・加工体制の構築 ・生産量の増加に応じた需要の確保
		ワーク 37③森林資源利用フローの推進	
	水産業	瀬戸内水産資源の増大と担い手の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・重点魚種の資源増大と瀬戸内地魚のブランド確立 ・担い手の確保・育成
		ワーク 38①瀬戸内水産資源の増大 38②漁場環境の整備 38③担い手の確保・育成	
	かき生産体制の構造改革	<ul style="list-style-type: none"> ・周年を通じた生食用殻付かきの安定供給体制の構築と新たな需要喚起と魅力向上によるブランド力向上 ・天然採苗の安定化によるかきの安定供給 	
	ワーク 38④かき生産体制の構造改革 (再掲 75②)		
安心な暮らしづくり	安全・安心な農林水産物の提供体制の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・安全安心を提供する生産管理体制の強化 ・食品表示等監視指導の強化と消費者の理解促進 	
	ワーク 65①安全・安心な農林水産物の提供体制の確保		
	インフラの防災機能向上	<ul style="list-style-type: none"> ・既存施設の維持管理体制の強化 ・農業用水利施設や治山施設等の整備 	
	ワーク 62②インフラの防災機能向上		
豊かな地域づくり	持続的な農業生産活動の実現	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ぐるみの共同活動を推進する仕組みづくり ・鳥獣害被害の縮減と指導体制の整備 	
	ワーク 77①持続的な農業生産活動の実現		
	森林の公益的機能の維持	<ul style="list-style-type: none"> ・公益的機能の低下が懸念される森林の整備 ・県民参加による森づくりの推進 	
	ワーク 78⑤森林の公益的機能の維持		
	健全な水循環等の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・農業集落排水施設の保全対策等による機能維持 	
	ワーク 78⑥健全な水循環等の確保 (再掲 57①)		

※ワーク：「ひろしま未来チャレンジビジョン」に基づくワーク一覧（平成30年度）

4 推進の手法

- 第Ⅱ期計画に掲げる目標（指標）を実現していくため、ターゲットとなる担い手の経営状況や産地の生産状況，市町や関係団体の振興計画における目指すべき生産構造などの将来ビジョンを共有して取り組んでいきます。
- 市町や関係団体と一体的に推進していくための協議の場を設定し，取組内容，スケジュール，役割分担等を整理した上で，相互に進捗状況を確認しながら推進していきます。
- 各地域における将来ビジョンの実現に向け，解決すべき課題のうち，県が主体となって解決していく取組を抽出した実行計画を「地方版アクションプログラム」として策定し，推進していきます。
- 「地方版アクションプログラム」の実行にあたっては，県の各機関の役割分担を明確にするとともに，定期的な進捗状況の共有などにより，P D C Aサイクルを循環させていきます。

[図 アクションプログラムの位置付け（農業分野におけるイメージ）]

